

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている			
	やや良く なっている	一般小売店 [靴・袋物] (経営者)	来客数の動き	・前年とは異なり、台湾や香港からの観光客が日本製の良い商品を買う傾向がみられる。
		家電量販店(従業員)	販売量の動き	・この時期、ビデオカメラの販売量が格段に増えるのは例年どおりであるが、今年は購入機種の価格に変化がみられる。高級機種が圧倒的に売れている。要因は幾つも考えられるが、価格が高くて良い物を選ぶ経済的余裕がみられる。
		その他飲食[居酒屋](経営者)	来客数の動き	・例年の9月10日以降は急激に来客数が落ちるが、今年は前年比で23%増加している。ただし、地元客は増えず、観光客の多さに助けられている。価格の明確なセット料理がよく出ている。
		観光型ホテル(商品企画担当)	販売量の動き	・8~10月は前年の稼働率を上回る状況である。
		通信会社(店長)	販売量の動き	・前年同月と比較して、販売が良好である。
		通信会社(サービス担当)	来客数の動き	・新規契約のための来客数が多くなり、ここ2か月ほど当社の売上が良くなってきてはいる。ただし、本日に景気のせいなのかは分からない。
変わらない		一般小売店[衣料品・雑貨](経営者)	販売量の動き	・来客数は例年並みだが、売上高は前年同月比では92%と減少している。同じ商品をインターネットで販売しているがネット売上は前年同月比130%とアップしている。観光客は沖縄で飲食やその他の文化を体験していくが、物販はネットなどの通販を利用する傾向がみられる。
		コンビニ(エリア担当)	単価の動き	・客単価をみる限り、これ以上悪化はしないが好転の見込みは厳しく、現状推移が続く。ただし、衝動買いを誘う低単価の商品はよく動く。
		観光名所(職員)	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成19年6月は前年同月比で107.1%であった。今月は9月24日現在で107.7%と同程度の伸びとなっている。9月の沖縄への入域観光客数も前年同月比で順調に伸びている。来園者は、一般団体、学生、カップル等が中心である。
		ゴルフ場(経営者)	それ以外	・現在は工事を行っているので、客はいない。工事が無かったとしても、それほど大きな変化は無く例年どおりの来客数になる見込みである。
やや悪く なっている		百貨店(担当者)	単価の動き	・今月は高い気温に苦戦している。夏物のセール終了後から商品単価、来客数が減少している。月中は2度にわたる台風の影響もあり、主力の衣料を中心に食品、家庭用品全般において苦戦している。気温が高く、連日30度を超えていることから秋物衣料の売上は前年比70%前後に落ち込んでいる。ただし、晩夏や初秋の衣料を求める客は多いので、衣料品全体では客単価5%の低下で済んでいる。
		コンビニ(経営者)	競争相手の様子	・最近ライバル店の出店があった。ここ2か年で4件の出店である。まさにサバイバルの状況である。
		その他専門店[楽器](経営者)	販売量の動き	・売上が前年より落ちている。全体的には下げ止まり感はみられるが、良い部門でも前年並みを維持するので精一杯である。
悪く なっている	商店街(代表者)	競争相手の様子	・大型店が全県に広がってきており、そこへ客が流れて商店街は全体的に客割れの状況である。	
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・受注1件当たりの単価が上昇している。
	変わらない	会計事務所(所長)	受注価格や販売価格の動き	・土地の価格に目立った動きが無い。
	やや悪く なっている	輸送業(営業・運営担当)	受注量や販売量の動き	・例年、飲料関係が9月までは消費量が増えるが、本年は沖縄では悪天候の日が多くて売行きが伸びず、配送及び補充業務が減少している。

	悪く なっている	コピーサービス 業（代表者）	受注価格や販売 価格の動き	・市町村からの受注が激減しており、給与面でも苦しい状況が続いている。この1年近く、売上を増やすために営業マンを増やしたりしたが、このような状況もあって1年以内で退社するケースがほとんどである。営業マンが自分の給料をちゃんと稼げるようになるまで約2年かかるので、1年で辞めるのは、給与を負担する会社や古参の営業マンにとってはマイナスである。状況が厳しくなった今日、特に営業の育成と質の面に努力が必要であると実感する。
雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良 く なっている	人材派遣会社 （経営者）	求人数の動き	・長期の派遣契約先はほとんど更新契約をしている。また、それらの派遣契約以外の新たな依頼もある。景気が徐々に良くなっているのを実感できる。
		学校〔専門学 校〕（就職担 当）	求人数の動き	・新卒向け県内外の企業求人活動は一段落した感があるが、内定をもらっても他企業からの内定を理由に辞退する学生も多くなっており、第2、第3次の募集が多く届いている。新卒採用枠を満たしていない企業が多く見受けられる。
	変わらない	求人情報誌製 作会社（営業 担当）	求人数の動き	・求人数に多少の増減はあるが、全体的に横ばい状態に見受けられる。
職業安定所（職 員）		求人数の動き	・公共工事の受注増からか、今年8月は建設業からの求人が前年8月からの1年間で一番高い数字を示している。その他パート求人増加といった好材料も見受けられるが、必ずしも正社員としての雇用が大幅に増加しているわけではなく、実質は明らかに改善しているとまではいえない。	
	やや悪 く なっている	-	-	-
	悪く なっている	-	-	-